第１号議案　2017 年度事業・活動報告の承認

１．寄付の造成

１）福祉たすけあい基金＜生活クラブ組合員寄付＞

（1）年間寄付額は 13,030,900 円でした（2016 年実績対比 98.1%）。

（2）組合員の福祉たすけあい基金寄付参加者データは以下の通りです。

2017 年 4 月期首　　10,919 人

2018 年 3 月末取組人数　　10,745 人　　174 人減

（2017 年拡大目標 11,277 人）

①生活クラブ福祉たすけあい基金参加者 2017 年度推移

		期首	3 月末
横浜北	参加人数	2,403	2,335
	参加率	14.8%	13.7%
横浜みなみ	参加人数	2,214	2,217
	参加率	11.0%	10.7%
かわさき	参加人数	1,764	1,729
	参加率	15.8%	15.0%
湘南	参加人数	2,473	2,429
	参加率	14.4%	13.5%
さがみ	参加人数	2,065	2,035
	参加率	21.4%	20.3%
全体	参加人数	10,919	10,745
	参加率	14.7%	13.9%

			増減	組合員人数
コモンズ（配送）参加者	7,768	7,696	－72	51,019
参加率	15.80%	15.1%		
デポー（店舗）参加者	3,151	3,049	－102	26,204
参加率	12.50%	11.6%		
全体　参加者	10,919	10,745	－174	77,223
参加率		13.9%		

②組合員寄付（月別実績）

月	金額（円）
4 月	1,090,500
5 月	1,095,400
6 月	1,082,100

7 月	1,090,700
8 月	1,080,400
9 月	1,082,800
10 月	1,089,000
11 月	1,089,200
12 月	1,074,300
1 月	1,092,700
2 月	―
3 月	2,163,200
合計	13,030,900

※　システムの都合により 2､3 月分を 3 月に一括受入れた。

③参加拡大に向けた活動

福祉たすけあい基金の取組み拡大に向けて、生活クラブと連携して以下に取組みました。

主体	目　的	アクション	対　象　等
生活クラブ 神奈川	参加拡大	年 2 回のチラシ配布 財団との共催活動：贈呈式	配送組合員は全員配布、店舗組合員は店舗置き
生活クラブ 地域生協	参加拡大	大会・在高確認集会での拡大活動･地域の助成団体を招聘した学習会・独自ニュースなど	地域生協毎に組み立て
財団	参加拡大	年 2 回加入申し込み付きレポート配布	配送組合員は全員配布、店舗組合員は店舗置き 30 部
	活動報告	年初の領収書発行の際に財団発行のレポートを封入 デポー組合員分は郵送	基金参加者
		生活クラブ広報誌「えぽ」記事掲載	組合員全員
共催	語り部育成		贈呈式・交流集会を年 2 回実施

２）福祉たすけあい基金＜一般寄付＞

月	一般寄付者	一般寄付者内容
4 月	70,800	年間登録寄付者（14 名、11 団体）
5 月	12,000	横田克巳さん
6 月	6,600	助成団体からの寄付（4 団体）
7 月	8,400	佐々木賢二さん、助成団体からの寄付（3 団体）
8 月	86,000	助成団体からの寄付（1 団体）、フォーラムの協賛団体からの寄付（5 団体）
9 月	51,150	助成団体からの寄付（3 団体）、フォーラムの協賛団体からの寄付（5 団体）、フォーラムでの当日寄付
10 月	13,600	助成団体からの寄付（4 団体）
11 月	31,200	助成団体からの寄付（2 団体）、一般寄付者（2 名）
12 月	2,100	一般寄付者（1 名）

1月	0	
2月	0	
3月	10,000	山際眞子さん
合計	291,850	

① 一般寄付者は、財団の前身である「たすけあい未来ファンド」からの継続寄付者、個人寄付者、助成団体からの寄付（一口 1,200 円以上で依頼／取組は任意）、フォーラム協賛寄付金で構成されています。

② 助成団体への働きかけを行い、団体寄付者が増えました。また地域フォーラム・全体フォーラムに協賛する団体も増えました。

＜寄付取組を始めた助成団体（一覧）＞

神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会（第 8 期）	1,200 円
かながわ外国人住まいサポートセンター（第 8 期）	6,000 円
子ども応援丸（第 7 期）	1,200 円
「ひき桜」in 横浜（第 7 期）	1,200 円
萩園いこいの里ロビー活動実行委員会（第 7 期）	1,200 円
NPO 法人フォーラムアソシエ（第 7 期）	2,400 円
本もく座 （第 7 期）	1,200 円
湘南地域デザイン（第 7 期）	2,000 円
NPO 法人 いーぷらす（第 7 期）	6,000 円
W.Co mon ami（第 7 期）	1,200 円
親と子の寺子屋ふれあい自遊塾（第 7 期）	1,200 円
NPO 法人ほっと舎アルク（第 7 期）	10,000 円
海老名女性支援電話そよ風（第 8 期）	1,200 円
NPO 法人ワンエイド（第 8 期）	1,200 円
子育てサロン「子こっと」（第 8 期）	1,200 円
W.Co たんぽぽひろば（第 8 期）	1,200 円
W.Co のびのび	10,000 円
合計	52,600 円

＜フォーラム協賛・寄付団体＞

扶桑電気株式会社（新規）	10,000 円
横浜 YMCA（新規）	10,000 円
ソーシャル・コーディネートかながわ（新規）	10,000 円
神奈川県労働者福祉協議会（新規）	20,000 円
日興テクノス株式会社	10,000 円
早川運輸株式会社	10,000 円
神奈川県教職員組合	30,000 円
神奈川県地方自治研究センター	10,000 円
神奈川県地域労働文化事業団	10,000 円
フォーラム開催時募金箱への寄付	1,950 円
合計	141,950 円

３）財団運営費への寄付

早坂　毅さん（財団理事）　100,000 円

三澤孝道さん（財団理事）　10,000 円

２．助成事業（公益目的事業１）

１）2017 年度助成実績

	福祉たすけあい 第 8 期	福祉たすけあいスタート助成　9 期	エラベル 4 期	計
申請団体	20	24	4	48
助成団体	13	16	2	31
助成金額　円	4, 000, 000	4, 346, 100	1, 251, 370	9, 597, 470

２）2017 年度助成活動

①　通常型福祉たすけあい助成　（第 8 期）　400 万円助成

・　申請 20 団体で 13 団体に助成を行いました。初めて、助成額を積み上げ助成総額から引いた金額を次点の団体への助成とし（残額が活動にチャレンジできる金額だった）、計画通り 400 万円の助成を実施しました。

・　外国につながる人々の居住を支援する活動、フードバンクの人材育成、子ども食堂等の地域の居場所、政策が不足する自治体での子どもの一時預かり、新制度を活用した病児保育支援、引きこもり者のピア活動など、社会の課題に対応する意欲的な活動からの申請がありました。

②　福祉たすけあいスタート助成（9 期）　継続申請 3 期目

・　スタート助成は比較的小さな活動・事業への支援や新規事業立ちあげ支援を目的としたプログラムで 2015 年に開始以来、3 期目の取組みを迎えました。

・　今期の募集から「団体設立 3 年未満」という応募要件をなくし、新規事業への取組みという応募要件にした結果、申請団体数は過去最大の 24 団体となりました。

申請 24 団体の活動分類は以下の通りです。

子ども・若者支援 16、障がい児・者支援３、子ども食堂を含む居場所づくり 10、高齢者 2（居場所）母親支援 2

・　1～2 月に選考部会・選考委員会を開催し、16 団体に助成を行いました。助成総額は 4,346,100 円です。

	第 1 期（通算 5 期）	第 2 期（通算 7 期）	第 3 期（通算 9 期）
助成/申請	10 団体申請 6 団体に助成	15 団体申請。10 団体に助成	24 団体申請、16 団体に助成
1 期からの継続	—	5 団体申請。5 団体に助成	1 団体に助成
2 期からの継続	—	—	3 団体に助成

③ エラベル助成　第４期

５月理事会で第１期～第３期の総括を行い、目標達成団体が少ないこと、財団由来の寄付が 75%を超えていること等を踏まえ、4 期の選考に際して改めて募集要項にある「主体的に寄付集めをおこなう」寄付募集活動ができる団体であることを確認し、選考を行いました。

NPO 法人アクションポート、川崎地域エネルギー市民協議会の２団体と共に寄付募集活動に取組みました。

２団体とも寄付目標金額を達成しました。また寄付取組人数に占める団体由来人数は、アクションポート横浜が 51%、川崎地域エネルギー市民協議会が 70%と、登録団体による主体的な寄付募集が行われました。

団体名	寄付金額 目標（円）	寄付実績 （円）	寄付人数 （団体含む）	助成額（円） 寄付金×85%
アクションポート横浜	60 万	750,000	57	637, 500
川崎地域エネルギー市民協議会	60 万	722, 200	149	613, 870
計		1, 472, 200	206	1,251,370 円

＜参考資料＞

財団設立以来の助成累計

	福祉たすけあい 1～9 期	オーダーメイド （子どもいきいき）	エラベル 1～4 期	計
申請団体数	196	10	16	208
助成団体数	97	9	14	118
助成金額　円	31, 422, 913	1, 000, 000	8, 028, 407	40, 475, 320

内容別　申請 208 団体中　複数回答

子ども	居場所	高齢者	障がい	若者	貧困	就労
111	51	42	43	29	15	17

福祉たすけあい基金助成団体 1～9 期自治体別

（1）申請助成団体　福祉たすけあい基金　申請計 196 団体　助成 97 団体のべ

横浜市　　北

	青葉区	緑区	都筑区	港北区	鶴見区	北エリア計
申請	8	11	4	16	5	44
助成	4	4	0	10	3	21

横浜市　　みなみ

	旭区	西区	中区	神奈川区	港南区	金沢区
申請	1	3	19	6	2	9
助成	1	3	10	1	1	3
	南区	磯子区	戸塚区	瀬谷区	泉区	みなみエリア計
申請	6	3	1	8	1	59

助成	1	2	0	7	0	28

川崎市

	高津区	宮前区	中原区	多摩区	幸区	かわさき計
申請	4	2	3	5	1	15
助成	1	1	0	3	1	5

湘南エリア

	逗子市	葉山町	横須賀市	平塚市	小田原市	湯河原町	秦野市
申請	3	1	5	5	5	1	5
助成	2	1	2	4	2	0	1
	藤沢市	茅ヶ崎市	鎌倉市				湘南計
申請	15	12	1				53
助成	9	9	1				31

さがみエリア

	相模原市	座間市	大和市	海老名市	清川村	綾瀬市	愛川町	さがみ計
申請	6	3	8	3	1	1	1	23
助成	2	1	3	2	1	1	0	10

県外　武蔵野市　さいたま市

申請	2
助成	1

３．研修・セミナー事業（公益目的事業２）

フォーラム開催は、〈市民と市民活動を結び、社会課題解決を目指す市民活動を応援する〉という財団のミッションが助成活動にとどまらず、市民・地域団体・地域社協等との新たなネットワークをめざす財団としての社会的認知、地域や申請団体・賛同団体の掘り起しにつながっています。

(1) 子ども・若者の孤立・貧困に立ち向かう市民団体を応援するフォーラムの開催

・2017 年 2 月の逗子フォーラムを皮切りに、3 月さがみフォーラム、4 月港北フォーラムと連続して開催しました。

・港北区フォーラムの開催にあたっては、地域の中での広がりをつくることや、意志ある人を発掘することを目的に、地域で活動している団体（子ども食堂、学習支援、居場所づくり、プレイパークなど）を主宰する市民リーダーに呼びかけて実行委員会を形成し、開催準備をすすめました。

・横浜ＹＭＣＡ、横浜市港北区社協の協賛を得て、4 月 16 日（日）に横浜北ＹＭＣＡを会場にフォーラムを開催しました（参加者 100 名）。

(2) 若者の未来づくりを応援するフォーラムの開催

・子どもが若者へと成長し、就労し自立していく過程で様々な困難に陥ることがあります。この問題を地域の問題と捉え、課題解決をすすめていくためには何が必要なのかを探り、市民の側からの行動提案を呼びかけるためにフォーラムを開催しました。
・ＮＰＯ法人ＰＯＰＯＬＯ（生活困窮者支援事業／静岡県）の鈴木和樹氏の基調講演を受けて神奈川県内で活動する 4 団体（神奈川県生活サポート、はっぴい＆キャリー、ワーカーズ・コレクティブ協会、フェアスタートサポート）から報告と問題提起を受けて討議を行いました。

過去 2 年間のフォーラム開催実績は以下の通りです。

フォーラム開催実績		
2016 年 7 月	フォーラム「子ども・若者の孤立と貧困に立ち向かう市民活動を応援する」	参加者 143 名
2017 年 2 月	逗子フォーラム	参加者 102 名
2017 年 3 月	相模原フォーラム	参加者 118 名
2017 年 4 月	港北区フォーラム	参加者 100 名
2017 年 9 月	フォーラム「若者の未来づくりを応援する」	参加者 80 名

(3) 研修・セミナー事業推進のための活動費用の新たな積立について
・研修・セミナー事業の活動費用は「特定資産研修セミナー事業積立金」を活用しています。この 2 年の活動で当初積立金 150 万円を使い切ったため、「新助成プログラム開始準備積立金（400 万円）」から 250 万円を取崩し、研修・セミナー事業推進費用に積み立てました（3 月度理事会議決）。

４．広報発行事業（公益目的事業３）

(1)「福祉たすけあい基金Ｂｏｏｋ　Vol. ５・６」の発行
・　第 7 期、8 期福祉たすけあい基金の助成団体紹介のためのブックレット「福祉たすけあい基金 Book　Vol５・６」を作成・発行しました。市民基金関係者に配布しました。発行部数は 500 部ずつです。

(2) ３つの地域フォーラム報告書「子どもの貧困は他人ごとですか？」の発行
・　逗子市（2 月）、相模原市（3 月）、横浜市港北区（4 月）で開催したフォーラム報告書を作成・発行しました。報告書は 1,000 部作成し、フォーラム参加団体・協賛団体・行政関係者をはじめ、市民基金の関係者・関係団体に配布しました。

(3)「福祉たすけあい基金レポート 2017 年夏号＆2017 年度冬号」の発行
・　生活クラブ組合員向けの活動報告書を作成し、コモンズ組合員には全員、デポー組合員にはデポーフロア配架にて配布しました。
・　生活クラブユニオン共済たすけあい委員会発行のニュース「福祉たすけあい基金に参加しましょう」と同じ月（配布週は異なる）に組合員に届けたことによって、相乗効果を狙いました。夏号では 110 名、冬号では 84 名の新規取組があり、一定の効果があったと総括します。

(4) フォーラム「若者の未来づくりを応援する」の報告書の発行

・ 9月24日に開催したフォーラム「若者の未来づくりを応援する」の報告書を3月に発行しました。

・ 1000部作成し、フォーラムを主催した実行委員会の団体・協賛団体・行政関係者をはじめ、市民基金の関係者・関係団体に配布しました。

5．その他の活動

(1) 市民ライター講座を開催しました。

・ 市民基金のメッセージ力を高め、情報発信活動に参加する市民・組合員をおおぜいにすることを目的に「市民ライター講座」を開催しました。開催にあたっては生活クラブ共済たすけあい委員会と共催し、講座参加者を公募しました。

・ 講師は生活クラブの情報誌『生活と自治』前編集長の山田衛氏にお願いし、7名の受講生を得て、1月～3月に計4回の講座を開催しました。

・ 3月31日に終了式を行いました。講座修了者による助成団体の訪問・取材と広報は2018年度から始めます。

(2) フードバンクかながわの設立に参画しました。

・ 2016年度当財団が主催した研究会をキッカケに始まったフードバンク検討は、2017年4月から12団体が参加する準備会を立ち上げ、2018年4月の事業開始をめざして活動をすすめています。当財団は準備会に参加するとともに事務局を担い、非営利・協同組織による社会的連帯経済によるフードバンクかながわ設立に貢献しました。

・ 2月22日に一般社団フードバンクかながわが発足しました。かながわ生き活き市民基金として設立時社員及び理事として参画しました。

(3) ホームページの更新をすすめました

・ WEB広報を強めるためにホームページのリニューアルをすすめました。課題であったエラベル寄付募集活動でのホームページ広報充実を先行実施（12月）、2018年4月から全面リニューアルします。

(4) 助成団体情報のデータベース化をすすめました

・ 設立以来の助成申請団体は200団体を超えました。助成団体のデータベースを作成し、情報整理を図りました。

(5) 遺贈・生前寄付プログラムの検討を行いました。

・ 超高齢社会・相続税法改正・社会的に拡がる寄付文化など、社会的に遺贈等寄付への関心が高まっています。組合員・市民の持つ市民資本を、相続税として公的資本への繰り入れや、商業行為で産業資本に流すだけではなく、市民が自主的に活用を決められ、市民社会や市民活動の活性化に活用できる市民資本へ導いていくために、意思ある活用の選択肢を豊富に提供していく新たな寄付プログラムの検討を始めました。

(6) 基金サロンの開催

・隔月の理事会、年2回の評議員会だけではなく、地域において多様な活動をされて

いる財団の理事・監事・評議員が、相互に活動を知り、意見交換する場として、基金サロンを計画し、2017 年は 3 回のサロンを開催しました。

スピーカー	テーマ	開催日
小田鈴子さん	逗子池子米軍住宅と市民自治～市民運動の当事者が語る～	2017 年 10 月 14 日
川岸卓哉さん	小規模分散型・地産地消型の電力システムの街をめざす	2017 年 12 月 7 日
小野明男さん	陸前高田にジャズよ甦れ!～横浜市民らレコード 6500 枚で応援～	2018 年 2 月 7 日

6．財団運営

1）機関会議運営

(1) 理事会

・定例理事会を 5 月、8 月、9 月に、臨時理事会を 6 月に開催しました。各理事会の主な議決事項は以下の通りです。

	主な議決事項
第 1 回(5 月度理事会) 5 月 13 日開催	①2017 年度定時評議員会議案の決定 ②役員候補・評議員候補推薦委員会答申 ③事業指定助成プログラム『エラベル』2016 年度総括及び 2017 年度活動計画・募集要項の承認 ④フードバンクかながわ準備会への参加 ⑤ 特定資産取扱い規程の一部変更 ⑥ 2017 年度研修セミナー事業市民基金フォーラム実施計画の承認
第 1 回臨時理事会 6 月 3 日開催	①理事長の選任並びに副理事長・専務理事の選任 ②選考委員の選任並びに選考部会メンバーの選出 ③第 4 期事業指定プログラム「エラベル」募集要項・応募要件の一部修正
第 2 回(7 月度理事会) 8 月 1 日開催	①第 8 期福祉たすけあい基金選考結果の承認 ②2016 年度の 3 地域フォーラム開催報告 ③基金サロン開催計画 ④2017 年度臨時評議員並びに 2018 年度定時評議員会開催日程
第 3 回(9 月度理事会) 9 月 16 日開催	①福祉たすけあい基金第 9 期（第 3 期スタート助成）実施計画・申請要項の承認 ②生活クラブ福祉たすけあい委員会との共催による（仮称）市民ライター講座の承認 ③生活クラブとの共催による第 8 期福祉たすけあい基金贈呈式・交流会・エラベルキックオフの開催計画の承認

	④「基金レポート 2017 冬号」の発行計画 ⑤クレジット決済契約先の変更 ⑥遺贈寄付の窓口開設についてワーキングチームの設置
第 4 回（11 月度理事会） 11 月 18 日開催	①2017 年度上期事業報告・決算の承認並びに下期対策 ②第 4 期事業指定プログラム「エラベル」登録団体の選考報告と実施計画予算の承認 ③福祉たすけあい基金取組み組合員への領収書発行等に係る予算の承認 ④ホームページリニューアル実施計画及び予算の承認
第 5 回(1 月度理事会) 1 月 13 日開催	①2018 年度事業計画並びに収支予算第一次討議 ②フードバンクかながわへの参加方針 ③2017 年度第 1 回臨時評議員会開催要領並びに議案の決定 ④2018 年度年間会議日程
第 6 回(3 月度理事会) 3 月 10 日開催	①2017 年度臨時評議員会議案の決定 ②特定資産「新助成プログラム開始準備金」の一部を取崩し「研修セミナー事業積立金」に充当する件 ③寄贈寄付ワーキングチーム検討まとめ ④第 9 期福祉たすけあい基金選考結果の承認 ⑤第 10 期福祉たすけあい基金募集要項並びにチャートの承認

(2)定時評議員会の開催

・　6 月 3 日に定時評議員会を開催し、2016 年度事業・活動報告並びに決算書を承認しました。今年度は役員、評議員の改選期であり、候補者全員（理事 22 名、監事 3 名、評議員 25 名）が選任されました。

(3) 参加状況

・理事会

	5 月度理事会	6 月度臨時理事会	7 月度理事会	9 月度理事会
理事	15/22	15/22	16/22	15/22
監事	2/3	3/3	3/3	2/3
	11 月度理事会	1 月度理事会	3 月度理事会	
理事	15/22	19/22	14/22	
監事	2/3	2/3	2/ 3	

・評議員会

	定時評議員会　17 年 6 月 3 日	臨時評議員会　18 年 3 月 24 日
評議員	16/25	23/25

以上

第 8 期助成団体（2017/08/1）

名　称	主な活動地域	申請事業	助成内容	助成額円
かながわ外国人すまいサポート	神奈川県内	多言語による、住まいサポートの拡充	多言語相談拡充の為のスタッフ交通費、人件費、通信運搬費	466,000
（特非）ワーカーズコレクティブのびのび	茅ヶ崎市	介護保険外での、移動支援サービスのスタートアップ費用	車輛リース代、ガソリン代、駐車場代	499,255
（特非）ワーコレたんぽぽひろば	茅ヶ崎市	地域の繋がりが希薄になった地域での居場所事業の開始	広報費、ペンキ代、ガスコンロ、エアコン購入費	517,208
（特非）ままとんきっず	川崎市	既存保育施設を利用した一時保育預かり事業の拡大	増床工事費用	462,000
「あいおい」みんなの食堂	相模原市（中央区相生）	生協の施設を利用した子ども食堂の運営	食材費、フライパン、冷蔵庫購入費用	69,600
（特非）き・ら・らクリアポート	逗子市	養護学校を卒業した障がい児を対象とした日中一時支援事業の運営	運営場所の補修工事費用	300､000
海老名女性支援電話「そよ風」	海老名市	電話傾聴による、ＤＶ相談、家族相談	ＤＶ相談を受ける為のスタッフ研修費、データ保存の為のパソコン購入費用	268,784
（特非）まんま	横浜市	子どもの発達に不安を感じている親子を対象とした、ピアサポート事業	ピア相談を行うための講師謝金、障がい児支援に関する外部研修じ参加するための研修参加費	260,000
子育てサロン子こっと	茅ヶ崎市	地域のボランティアによる子ども見守り事業	新しいおもちゃ並びに絵本の購入費	100,000
（特非）ワンエイド	座間市	フードバンク宅配事業	ガソリン代、人件費にかかる全体金額の３分の２を助成	394,800
Ｗ．Ｃｏ連合会	神奈川県内	市民参加による地域包括ケアの為の調査研究	調査研究費	260,000
こぐまハートクラブ	横浜市	先天性心疾患を含む病弱児の為の人的支援事業	広報費・人件費の一部	300,000
ヤングコミュニティー	横浜市	ひきこもり当事者を対象とした講演会の開催	講演会約１回分の費用	152,353
合計				4,000,000

第９期助成団体（スタート助成Ⅲ）

名　称	主な活動地域	申請事業	助成内容	助成額（円）
子どもひろばみらい	鎌倉市	放課後　居場所事業	学習会講師謝金・広報費、保険費用	100,000
お福わけの会	横浜市 瀬谷区	フードバンクと連携した食料支援事業 「食糧わかちあい」	印刷製本費、諸謝金、冷蔵庫購入費用、コーディネーター費用	360,000
かながわ福祉移動サービスネットワーク	横浜市 港北区	障がい児者が一人で乗るタクシープロジェクト	会議費、旅費交通費、通信運搬、消耗品費、広報費、人件費	360,000
キッチンうめちゃん	横浜市 磯子区	子ども食堂「キッチンうめちゃん」運営	物品購入費	122,100
ＮＰＯ子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ	横浜市 鶴見区	「自分らしく生きる権利」を知る - 若者の為のプロジェクト	旅費交通費、諸謝金、広報費、物品購入費、人件費	350,000
ら・ぱれっと	茅ヶ崎市	お母さんと赤ちゃん、シニア女性たちの集えるカフェ事業	印刷製本費、家賃・光熱費の一部、諸謝金、広報費、物品購入費	360,000
つばき学習会	川崎市 高津区	学習支援事業 「つばき学習室」	旅費交通費、印刷製本費、広報費、物品購入費、ボランティア保険の一部	234,000
ＮＰＯ法人 結の樹　よってけし	愛甲郡 清川村	つなぐ・つながる・支え合う小さな村のたすけあい活動	通信運搬費、消耗品費、コピー機、パソコン購入費用	400,000
ワーカーズ・コレクティブびすけっと	川崎市 高津区	小規模保育事業所をめざし開設した認可外保育「びすけっと」の運営	家賃の一部	300,000
ぱくぱく食堂	神奈川県 綾瀬市	子ども食堂「ぱくぱく食堂」の運営	旅費交通費、会場費、広報費、物品購入費、ボランティア行事保険費用	140,000
はだのあすなろ会	秦野市	就労継続事業支援Ｂ型での水耕栽培事業	ＬＥＤライト、モーター購入費	400,000
パステルゾーン育児の会	横浜市 鶴見区	当事者で作成する放課後等デイサービスガイド鶴見区版の作成	会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗品、印刷資本費、諸謝金、物品購入費	280,000
親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾 （3 回目申請）	平塚市	親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾の運営	人材育成費用	100,000
いーぷらす （2 回目申請）	横浜市 金沢区	就労継続支援Ｂ型でのドッグカフェ、ものづくり事業の運営	物品購入費、ガスコンロ、シンク購入費用	388,000
本もく座 （2 回目申請）	横浜市本牧	本の読み聞かせ「本もく座」の運営	読み聞かせ講師謝金、紙芝居舞台購入費	92,000
ひきこもり当事者グループ「ひき桜」in 横浜（2 回目申請）	横浜市 青葉区	ひきこもり当事者主体によるピアサポート普及啓発に向けた継続事業	旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費、諸謝金。	360,000
合計				4,346,100